



第229号

編集責任 筑波大学新聞 編集委員会 委員長 嶺 隆

T E L : 029(853)2040・2041 E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp 月刊

発行所 筑波大学 茨城県つくば市 天王台1-1-1

紙面から

視点 駐車場有料化から1年 史上最多の外国人留学生 なぜ?と問うる? 国立大学法人化へ 永井、高安、世界水泳へ 社会学類法主専攻のカリキュラム 新議長に重住さん

11 10 9 4 3 2

特集 6,7 新入生に 推薦の一冊

筑波大学開学30周年 (創基131年)

授業評価実施へ

6月にもツインズ上で

新学務システム・ツインズを利用して、学生による授業評価を実施することになった。6日の学群教育改善ワーキンググループ、7日の教育計画室会議で審議が行われる。学生は、履修した科目について「シラバスに書かれた内容と一致した授業が行われているか」など、全ての科目に対応する5項目について5段階で評価する。

原則 45単位上限制 今年度も

超過単位扱い未定、大半

「単位の実質化」を目指し、45単位上限制が実施されて1年。昨年度は、年度途中でツインズ上の登録制限が解除されたり、学群によって上限を超える履修を認めるなど大学側の方針が揺れたため、学生に困惑が生じた。今年度は45単位を原則としながらも、ツインズ上では上限を超える履修登録ができる。45単位上限制に学生は今年も翻弄されそうだ。(本紙・佐藤良枝「社会学類 日影耕造」比較文化学類) 実施初年度 昨年度は1学期の履修申請期間中、45単位を超えて登録できないようツインズ上の制限があった。しかし、カリキュラムの見直しや改善が伴わない状態では制限を突破するのには、おかしなところがある。今年度は7月に解除された。これに伴い、上限を超える履修登録者が相次ぎ、修得単位の扱いをめぐって学群・学類の対応が異なってきた。一学では、人文と自然が現在も未定のまま。社会は、



2004年国立大学法人化へ 準備委に11の専門委 年内にも新学長選出

来月4月の国立大学法人化に向け、体制作りが進んでいる。 筑波大学法人化準備委員会(委員長「北原保雄学長」)の委員が、4月18日の評議会に選出された。25日に第1回準備委を開き、11の専門委員会を設置した。副学長と企画調査室長が分担して主査を務める。5月19日の第2回準備委まで、各専門委で議論を進めていくことになる。準備委の議事要旨などは本学ウェブページ上で公開する。eメールで見ても受け付ける予定だ。 準備委に設置された専門委員会は次の通り。 計画・評価専門委員会 組織運営専門委員会 本部・部局運営専門委員会 任用・労務・労働条件専門委員会 予算・定員管理専門委員会 研究協力専門委員会 資源配分方式専門委員会 学生関係専門委員会 施設・安全管理専門委員会

「煙草は、悪魔がどこからか持ってきたそうである。芥川龍之介の煙草と悪魔の一節である。室町時代、宣教師に化けて日本へやってきた悪魔が煙草の種を畑に蒔いた。何の草かと尋ねた牛商人に名前を当てられるか、悪魔が賭けを持ちかける。牛商人は賭けに勝ち、煙草の畑を手に入れた。その後、たばこは日本全国に普及した。と芥川は書く。悪魔が伝えたのかどうかは別として、たばこは明治時代までに庶民の間にも普及し、嗜好品として広く愛されてきた。そんなたばこも最近、急に肩身が狭くなったようだ。今や禁煙の時代だ。5月1日から受動喫煙防止を義務づける健康増進法が施行された。首都圏の大手私鉄各社は駅構内を終日全面禁煙にした。昨年10月、東京都千代田区が、歩きタバコを禁止する条例を施行した。和歌山大学は昨年4月から構内の全面禁煙に踏み切る。本学も例外ではない。たばこ自販機は医学地区に続いて、この4月、宿舎でも撤去された。厚生会理事会で審議を繰り返して、最終的には学生対象のアンケート結果を見て決定した。学生の間でも禁煙への意識が高まりつつある。禁煙後、進国と悪名高い日本もようやく重い腰を上げたようだ。急に慌たたく動き出した日本人を見て「やっと気付いたか」と悪魔が舌を出しているかもしれない。

満開のツツジ 本学グラウンド口のツツジが満開だ。初夏の爽やかな新緑の中、色鮮やかな花の絨毯が、通行人の目を惹きつけている。(撮影・日影耕造「比較文化学類」) 薫風と新緑と 45単位以上履修する場合は学類で指導する旨の掲示を行った。掲示以前に上限を超えた学生には学務から連絡して対応した。「履修科目の上限を超えた申請願」を出した場合、各学類が可否を判断し、工基礎は50単位、その他の学類は55単位までの履修を認めた。 今年度は 初年度の経験から今年度は45単位上限制の原則を維持したまま、運用は各学類に委ねられた。 2年生の場合、昨年度の成績を基準に、人文、比文54単位、自然60単位、その他の学類55単位を上限に履修を認めた。認定基準は、修得単位数に占める「A評価」の割合、最も割合が高いのは、人間、資源で90パーセント、最も低いのは社会、自然で50パーセントだった。ツインズ上の登録に制限はない。1年生の場合、履修可能なのは原則として45単位。しかし、ツインズ上で上限を超えた登録も可能だ。今年度、上限を超えて履修登録した学生への対応は、三学を除いて未定。三学は、1、2年次とも履修科目の上限を超えた

感染伝播確認地域のSARSに帰国を指導 留学生に帰国を指導 土に8人、台湾に2人の学生がいる。 (重症急性呼吸器症候群・SARS)について、北の地域から帰国した者に6日、感染伝播確認地域に渡航中の本学教職員、学生に対して帰国を指導するよう各組織の長に通達を出した。大学の調べによると、同日現在、中国本土に電話で指示を仰ぐよう徹底させる。 感染伝播確認地域から受け入れを予定している場合は、計画の延期を検討する。 今後は、感染状況を見極めながら対応する。

駐車場有料化がら1年

視点

三学地区、松見口の駐車場がゲート化されて1年。「ゲート懸念されていた大学周辺の路



今月15日から3地区で新たにゲートが稼働する(一の矢地区で)

化後、入構証があるのに駐車できないという事態はなくなつたと評価する声がある一方、懸念されていた大学周辺の路

上駐車の問題が顕在化した。また、交通安全会の非営利の原則も崩れつつある。今月から一の矢地区、医学地区、本部棟南の駐車場もゲート化される。駐車場のあり方を考えた。(本紙・山口圭一「社会学類」)

迷惑駐車車の拡大
天久保3丁目の住民は「昨年

5月以降、昼間の路上駐車が増えた」と不満を漏らす。同地区の歯科医、上野修さんは「朝の8時から夕方5時ごろまで路上駐車が目立つ。閑散とした休日の状況と対照的だ」と説明する。路上駐車をした車の主が学内に入ってゆく光景は日管轄外であり、対応できないと説明する。

安全会へ5656人が加入

ゲート化・有料化された駐車場の2年目がスタートした。今月15日から本部棟南、医学地区、一の矢地区でゲートが稼働する。1日からの実施を予定していたが、学生へのバスカードの返却が滞っているため、延期された。

効率的な運用を目指して、教職員の駐車場は、体芸地区、身障者用駐車場を除き、原則としてゾーン化された。指定駐車場は無駄が多い」という利用者の声に応えたもの。

今年度の交通安全会への入会者数がまとまった。管轄の交通安全会へ入会した。今年度の交通安全会への入会者数は、5月2日現在、学生2147人、教職員や委託業者など3509人が入会した。昨年度に比べ、学生の申請が約500人増加した。

収入が増えた理由
収入が増えた理由として、石田理の増設などに対して、交通安全会から支出はできない。石田理事は「法人化後、これらの工事は受益者負担で行われるべきだ。繰越金を活用する」と話す。さらに「国立大学法人の収益事業」にするため、交通安全会を大学の正規の事業と見做す。税金対策として発展的に解消したい」と述べている。

大学評価・学位授与機構

研究活動

教養教育

社会貢献高く評価 改善の必要性指摘

大学評価・学位授与機構は3月26日、全国の国立大学を対象にした評価結果を公表した。今回評価の対象となったのは、学部段階の教養教育と、研究活動面における社会との連携及び協力」の2つ。本学は、研究面では最上位の評価を得たが、「教養教育の効果」については5段階中4番目という低い評価を受けた。同機構は2000年度から、各大学が設定した目標と達成度の自己評価をもとに、大学評価を試行している。結果の公表は昨年以降

は、平成13年度の社会科学卒業生に対するアンケート調査は、97年度から5年間を対象に行われた。各大学が提出した自己評価書をもとに、同機構の評価チームが書面審査とヒアリングの結果によって評価した。研究成果の社会への貢献度は、本学の先端学際領域研究センター(TARA)や産学リエゾン共同研究センターによる産学連携に対する意欲的な取り組み、過去5年間に大学発ベンチャーを13社設立したことなどが高く評価された。教養教育の効果については

「教養教育に対する評価は非常に残念である」と語った。菊池副学長は「本学の学群・学類制という教育システムに対して機構側の

理解は必ずしも十分なものではないか」と評価方法に疑問を呈した。

医学専門学群の医学類は来年度以降、講義中心の授業から、グループ単位で行う自習中心の授業へカリキュラムを変更することになった。医学教育改革委員会(委員長「庄司進一教授・臨床医学系」)の提案を受けて、1年生を対象に、週に1コマ、自習形式の授業を行うことになった。7人1組でグループを作り、各グループは3週間にわたって1つの課題に取り組み。学生は参考文献に当たったり、インターネットで医学の最新情報

自習中心へ転換 医学類カリキュラム

自習中心の授業に切り換え、グループ討論を活発化することによって、コミュニケーション能力を養い、自習自習の方法を身につけることを目指す。

同学類では数年前から、1年生を対象に、週に1コマ、自習形式の授業を行うことになった。7人1組でグループを作り、各グループは3週間にわたって1つの課題に取り組み。学生は参考文献に当たったり、インターネットで医学の最新情報

をまとめたレポートによって行われる。レポートを授業で報告し、それをもとにグループ討論を行う。新カリキュラムでは、1日1コマの講義を除くほとんどの授業がこの自習形式で行われる。

キャンパスに新作プロンズ像3点



松美池前で静かに学生の往来を見つめる

キャンパスに新作プロンズ像3点
木の前にはたまたすんでいる。プロンズ製で、昨年3月から約1年間をかけて制作した。田代教授は、この「自問3」が、本学は芸術分野も育む、共生」だ。以前、中村助教は授は芸術学系棟で、ふくろに遭遇した。「リニール」の工事で、学内で見かけた動物たちが、今どうしているのか気になって、と制作の動機を語る。

また、田代教授は、この「自問3」が、本学は芸術分野も育む、共生」だ。以前、中村助教は授は芸術学系棟で、ふくろに遭遇した。「リニール」の工事で、学内で見かけた動物たちが、今どうしているのか気になって、と制作の動機を語る。

平成15年度入学式 2349人が仲間入り

平成15年度の学群と理療科教員養成施設の入学式が4月7日午前、大学会館講堂で行われ、学群に2325人、理療科教員養成施設に24人の計2349人が入学した。昨年10月に新設された図書館情報専門学群と看護・医療科学類では初の入学式を迎えた。

北原学長は式辞の中で、「自分に最も適した道、自分の目指すべき目標を探し、それに向かって進む努力を続けてほしい」と新入生に呼びかけた。

看護・医療科学類に入学生した小原文裕さんは「校舎が思っていたよりもきれいで、学内に緑が多く広い」と第一印象を話した。

午後からは大学院の入学式が行われ、修士課程に1067人、博士課程に796人が入学した。

国側、棄却求める
2000年7月に本学附属病院で、肺の感染症患者が肺がん患者と間違えられ、誤って肺を切除された医療事故で、患者の男性が国を相手取り、慰謝料など約4000万円を求めた訴訟の第1回口頭弁論が4月7日、水戸地裁土浦支部(川島貴志郎裁判長)であった。国側は棄却を求め争う姿勢を示した。

被告である国側は「検体の取り違えは認めるとし、事故は明白で、因果関係の範囲内では補償に応じる」としたものの、「病気の程度からすれば右肺の一部切除は十分考えられた」と主張している。

イラク戦争は終結したが 思いはさまざま

アメリカのブッシュ大統領は5月2日、3月20日に始まったイラク戦争の終結宣言を発表した。戦争中故郷に帰っていたクウェート出身の留学生、当事国であるアメリカ出身の留学生、反核運動を行う日本の学生の3人は、この戦争をどう見たのか。それぞれの思いを聞いた。(本紙・浄光梨恵「日本語・日本文化学類 中村詩織 山脇学「国際総合学類」

イラクの隣国クウェートから本学に留学しているファクラル・デイン・ファティマ・アデルさん(国際2年、クウェート)は、この戦争を比較的に冷静に受け止めた。フアテイマさんは、開戦直前の3月11日に帰国、4月12日につくばに戻ってきた。開戦



ファクラル・デイン・ファティマ・アデルさん (国際2年、クウェート)

敵国の民主化に期待

「3月20日、現地で戦争を目撃したことになる。戦争を予測していたせい、市民に混乱はなかった。政府はあらかじめ市民に呼びかけて自宅や店舗の2階か3階にシェルターを作らせた。化学兵器は地上近くの方が被害を受けるた

めです。数日分の水や食料も貯蔵しました。唯一戦時を感じさせたのは、クウェート上空をミサイルが通過することを知らせるサイレンの音だった。緊急時にとるべき行動は、テレビや政府のホームページで常に知らされて

今回の戦争を、フアテイマさんは「やむを得ない戦争だった」という。フセインはイラクの人々を抑圧し、意図的に罪のない人を殺してきた。今まで自由を知らなかったイラクの人々。しかし



デイビッド・スピナさん (人間4年、アメリカ)

「ニューヨークの同時多発テロで死亡した被害者と同じ数のイラク人が、アメリカの攻撃で亡くなっている。ニューヨークから留学中のデイビッド・スピナ

さん(人間4年)は、「アメリカ人であることが恥ずかしい」と嘆息している。開戦後、友人と東京を歩いていた。反戦デモに出くわした。「すれ違う時にど

「子供たちが兵士に駆け寄り、花を渡す姿を見る。自分の気持ちを自由に表現しようとはじめていて、私たちが民主主義を信じています。イラクの人々に、さまざまな機会へのドアが開かれるはず」と期待を寄せている。

「アメリカ政府の振る舞いは、あまりに自分勝手だ」とデイビッドさんは感じていた。「ブッシュ大統領は常に戦争をしたがっている。アメリカにもそう言っている人は多い」

「イラク戦争には反対。ブッシュ大統領も支持していない」とデイビッドさんはいう。同時多発テロでは身近な人を亡くした辛い経験を持つ。しかし、テロとの戦いという大義名分の下に始められたこの戦争には最初から

反対だ。家族や友人など、アメリカの知人たちがほとんどが戦争に反対している。その一方で、基本的には反対派だが、戦争が始まってから兵士を応援するため支持派になった人も少なくない。

「アメリカ政府の振る舞いは、あまりに自分勝手だ」とデイビッドさんは感じていた。「ブッシュ大統領は常に戦争をしたがっている。アメリカにもそう言っている人は多い」

「イラクが早く復興できるよ。多くの国が力を合わせよう」と訴えている。

と主張する。日本人には希薄な愛国心を感じた。アフガン戦争の時には、アフガン訪問を計画し、鉛筆3万本と募金10万円を送った。イラクへの訪問や直接支援は考えていない。イラクについての知識の乏しさや現地で英語が通じない。何よりイラクを支援するための足がかりとなる機関が、日本にはない。

自国の行動に戸惑う

「ニューヨークの同時多発テロで死亡した被害者と同じ数のイラク人が、アメリカの攻撃で亡くなっている。ニューヨークから留学中のデイビッド・スピナ

さん(人間4年)は、「アメリカ人であることが恥ずかしい」と嘆息している。開戦後、友人と東京を歩いていた。反戦デモに出くわした。「すれ違う時にど

「アメリカ政府の振る舞いは、あまりに自分勝手だ」とデイビッドさんは感じていた。「ブッシュ大統領は常に戦争をしたがっている。アメリカにもそう言っている人は多い」

「イラクが早く復興できるよ。多くの国が力を合わせよう」と訴えている。

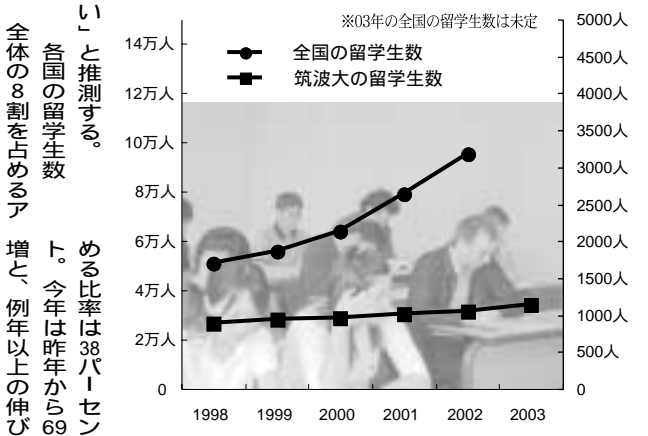
と主張する。日本人には希薄な愛国心を感じた。アフガン戦争の時には、アフガン訪問を計画し、鉛筆3万本と募金10万円を送った。イラクへの訪問や直接支援は考えていない。イラクについての知識の乏しさや現地で英語が通じない。何よりイラクを支援するための足がかりとなる機関が、日本にはない。

検証 筑波の国際性

世界78カ国から、1141人。5月1日付けで、留学生課が今年度本学に在籍する外国人留学生数をまとめた。全国の留学生総数は、昨年度、9万5550人に対し、5年前の5万1298人から倍増した。全国の留学生が飛躍的に伸びる中で、本学の留学生はどのような流れの中にあるのか。受け入れ人数の推移

史上最多の外国人留学生

計画が、今年は達成される見通し。本学の増加もそれによるもの」と話す。しかし、国立大学の受入数順位をみると、96年まで2位だったのが99年には4位に落ち、その後は横ばいだ。



少ないづくばで生活する。アジア地域のみならず、飛見せた。私費留学生にとって、厳しい条件がもたらした留学生だ。全体に占

「中国から来日した劉桂珍さん(教育研究科・教員研修留学生)は、イ・ネジャード・モスレ・ファテマさん(生命環境科学研究科)はGIS(地理情報システム)を用いた地域分析について研究している。「イランでの大学院進学はとて

「日本に近い東アジアからの留学生が多いが、今年、アフリカや中南米の増加、例年以上の伸びを

「日本に近い東アジアからの留学生が多いが、今年、アフリカや中南米の増加、例年以上の伸びを

「日本に近い東アジアからの留学生が多いが、今年、アフリカや中南米の増加、例年以上の伸びを

「日本に近い東アジアからの留学生が多いが、今年、アフリカや中南米の増加、例年以上の伸びを

「日本に近い東アジアからの留学生が多いが、今年、アフリカや中南米の増加、例年以上の伸びを

78カ国の1141人が在籍

「日本に近い東アジアからの留学生が多いが、今年、アフリカや中南米の増加、例年以上の伸びを

「日本に近い東アジアからの留学生が多いが、今年、アフリカや中南米の増加、例年以上の伸びを

「日本に近い東アジアからの留学生が多いが、今年、アフリカや中南米の増加、例年以上の伸びを

「日本に近い東アジアからの留学生が多いが、今年、アフリカや中南米の増加、例年以上の伸びを

「日本に近い東アジアからの留学生が多いが、今年、アフリカや中南米の増加、例年以上の伸びを

「日本に近い東アジアからの留学生が多いが、今年、アフリカや中南米の増加、例年以上の伸びを

「日本に近い東アジアからの留学生が多いが、今年、アフリカや中南米の増加、例年以上の伸びを

留学生の目



パフ・オチル・ホルゲン

私は、モンゴルのウランバートル出身です。今年4月に筑波大に入学しました。筑波に来る前の1年間、東京で日本語の勉強をしていました。

筑波では、先輩がいないので、自立しなくてはならない。疑問や質問したいことがあっても、自分で解決しなくてはならないので、大変です。例

「一緒に遊びに行く友人を作るといいですね。そのために、矢野舎から20分歩いて、大学に通います。しかし、それ以外は、普通の生活をしていきます。東京に

「一緒に遊びに行く友人を作るといいですね。そのために、矢野舎から20分歩いて、大学に通います。しかし、それ以外は、普通の生活をしていきます。東京に



漢字の理解に四苦八苦 法律学んで活躍したい

筑波大には、東京で通っていた日本語学校の先生から紹介されてきました。法学学んで活躍したい。将来は、法律の知識を活かして、ビジネスの世界で活躍したい。モンゴルの企業と取引する企業にアドバイスを

「一緒に遊びに行く友人を作るといいですね。そのために、矢野舎から20分歩いて、大学に通います。しかし、それ以外は、普通の生活をしていきます。東京に

学専類学群長 お薦めの一冊



風薫る5月。新入生も筑波での生活に馴染んできたころだろう。自分の時間が持てる時、読書に浸ってみるのはどうだろうか。各学類長・専門学群長にお薦めの一冊を紹介してもらった。

第一学群

人文 山田 宣夫



Chomsky, N. & M. Halle (1968) 『The Sound Pattern of English』 Harper & Row. 生成音韻論の出発点をなす言語学の最重要文献の一つ。1991年にMIT

後の音韻研究の進展を促す起爆剤となった。個別言語における表示の適格性を普遍的制約の相互作用に基づいて説明する今日の最適性理論も、ある意味では「有標性の規約」という考え方に端を発するものと言える。「非線状音韻論」の名称で一括される様々な音韻理論も、本書の提案に対する直接的なリアクションと考えるべきものである。以上のことを動案すると、本書は正に音韻論のバイブルと呼ぶのに相応しい書物と言えるであろう。

第二学群

比文 川那部 保明



ボエジーあるゆえに人は歌をついた。鎮魂歌をついた。だからボエジーはあらゆる文化の源であり、文化はボエジーがそれぞれの固有性においてとるそれぞれのかたちを遂げる。この文化の源としてのボエジーと真正面から格闘した詩人・ランボウの『地獄の季節』を昨年紹介したが、今年は石川啄木を挙げた。啄木は、誤解されている。くたさい。

「歌のいろいろ」(石川啄木全集4、筑摩書房、所収)を読んでみてほしい。彼はそこで、朝日歌壇選者として看破した投書者たちの、また自身の甘さと弱さと嘘を凝視し、それらに因つてくる社会の制度を探りあて、その社会のままで歌がいかにか無力な存在であるかを語っている。歌は彼の、「悲しい玩具」でしかありえない。しかし、それゆえに啄木は、最後まで歌を信じつづけるのだ。透徹した、歌への視線。彼もまたランボウ同様、ボエジーと真正面から格闘した詩人だった。一読してみて



生物 林 純一



昨年学類長としても、また一人として、学生にも薦める本はないと書いてきた。創刊の精神は、卒業生や退官教官を知的財産として「生きる」という本を書きたり、開き直ったが、もちろん書いていない。ただ、生物学類は昨年の9月からオンライン月刊誌「つくば生物」を発行し、その試みも、今年1月23日の読売新聞茨城版朝刊でも大きく取り上げられた。生物学類生はもちろんだ。他学類の学生にも気軽に読んでいただき、皆さんの率直な意見を投稿していただきたい。

資源 富田 文一郎



紀に爆発的に発展した我々の生活は、科学技術の発展によるものであった。しかし、20世紀末には、地球の有限性があらゆる面で顕在化してきた。地球温暖化、オゾン層の破壊、砂漠化、森林破壊、などの地球環境問題、人口増加と食料問題、や民族・宗教紛争の拡大など、様々な問題に直面し、人類は逃げ道が無くなっていくともいえる。

人間 宮寺 晃夫



加藤典洋著『敗戦後論』(講談社、2500円)。人間とは何か。それをまともに考えていくと、息がつかない。加藤の『敗戦後論』がその古典に匹敵する作品というわけではない。1945年から始まるわたしたちの時代が、どういう時代だったのか。それを加藤

日・日 今井 雅晴



佐伯順子著『遊女の文化史』(中公新書、680円)。新入生の皆さん、入学おめでとうございます。『遊女の文化史』は、遊

社会 辻中 豊



20年以上も講義をしてきたが政治の本質について漸く何か述べてみたいと思つようになった。そんな時、欠かさない現代政治学の古典が、E・E・シャツシユナイダーの『半主権人民』(1960年、内山秀夫訳

大嶽秀夫によれば政治学は固有の方法論を持たない学問で方法論は全て借り物だが、現代政治の動き、決断、そのインパクトに固有の関心と接近作法を持つユナイダーの『半主権人民』(1960年、内山秀夫訳)現代の現代たる点は、政治決定や紛争の膨張と収縮である。政治には、内には「民衆の政治」、外には「地球人の政治」へと広がりが、また時には急激にトップエリート専断へ、また主権国家の政治へと収縮する場合もある。なぜそうした波動が生じるかにこの小著の「紛争の転位」という言葉がヒントを与える。アメリカ政治が正に世界を覆つうようになった60年の緊張を背景に書かれたこの本で、大学院生の私は政治学への蒙を啓かれたのである。

自然 滝川 紘治



いち押しで薦めたい本は『Feynman QED Princeton 1985』(翻訳本あり)。20世紀折に触れ、フaynmanに代表する偉大な物理学者、あれこれと質問してきた。フaynmanが、量子電気フaynmanはいつも喜ん

で答えていたが、1時間や1晩の話では、肝心の量子力学の説明をしてやる事ができず、いつか彼女のために量子力学についてまとまった話をする必要があると感じていた。そして、フaynmanが行なった講演アリックス・モートナリは聞くことができなかった。に基つて書かれたこの本は、自然法則について知りたいという気持ちをもっているすべての人々

に立つて、またない贈り物となっている。私のすすめる一冊の「三千」と同じ類の定性的な数字と自由に解釈して、「そこか」「分かった」と叫ぶこと請け合いです。若いうちに名著に親しんで、至福の時を経験してほしい。エンジョイ!

として次の世代に伝えることである。すでに生物学類教育に対する貴重な意見が続々と寄せられており、逆にわれわれは生物学類の活動の様子、卒業研究の内容、卒業式の様子などをOBたちへ発信した。これらの活動は、この筑波大学新聞のみならず、今年1月23日の読売新聞茨城版朝刊でも大きく取り上げられた。生物学類生はもちろんだ。他学類の学生にも気軽に読んでいただき、皆さんの率直な意見を投稿していただきたい。

とめたものである。現在直面している問題が何故生じたのか、また科学技術や学術がどのように関わってきたかを分析し、さらに今後の循環型社会の構築に科学や学術がどのような役割と責任を果たさなければならないかを提言している。科学者や研究者を目指す学生ばかりでなく全ての学生にとって、科学と社会、科学と環境、科学者の在り方、科学者倫理などの知識を深める面で非常に参考になる。非売品であるが、日本学術会議のホームページにアクセスしていただきたい。

夢の実写版カーナビへ一歩

全方位カメラのシステム開発



岩田 洋夫

研究開発型の地域産業の振興を目的に産学官連携を推進するもので、筑波研究学園都市エリアは全国19地域の1つとして選ばれている。岩田教授は、一昨年から総務省の産学連携事業の助成金を受け、つくばマルチメディアと共同研究を進めていた。

今回開発されたシステムは、全方位カメラで撮影した風景をデータベースとして蓄積、再現するものだ。従来のようなCGではなく、実写映像を用いたカーナビのほか、臨場感豊かな観光案内、救急隊員の応急処置の様子を医師が見られるようなシステム、道路の混雑状況の把握など幅広い応用が可能な。今後は、システム開発のつくばマルチメディアと機器開発の青藤製作所とともに、多様な目的に対応した各種の画像表示システムの開発を目指すという。

バーチャルリアリティー研究の岩田洋夫教授(機能工学系)は、つくばマルチメディア(つくば市花室)と青藤製作所(取手市)との共同研究で、360度撮影できる全方位カメラを自動車に搭載し、周囲の風景を自動的に記録するシステムをこのほど開発した。

この共同研究は、文部科学省が昨年度から始めた「都市エリア産学官連携促進事業」の一環として行われ、

4月26日から5月5日まで、つくばセンターを中心に開催された。

毎年、芸術系サークルと地元の人々による多彩な催しが行われる。今年には本学の17サークルと地元との交流をめざし、芸術系サークル連合が企画する第19回つくば芸術祭「春だ! 満開! ビバ・フェスタ!」第19回つくば芸術祭 17サークル、多彩な競演



27日にアールホールで行われた、「春風さわやかコンサート」では、本学からプロックフレイテ同好会、管弦楽団、ギターマンドリン部の3サークルが参加。つくば市を中心に活動するオカリナ・蔵が加わり、会場を訪れた約200人の観客を楽しませた。

中でも、アンサンブルスでは、各芸術系サークルから有志が集まった学生が演奏(箏(そう)とマリンバなど、普段は実現しない競演を、会場に集まった観客は息を呑んで見つけた。写真)

オカリナ・蔵の納豊千草さんは、「私たちが年に一度、この日のために練習を積んでいる。とても張り合いになっている」と来年に向けて意欲も見せた。

「座敷に泥足で踏み込んで!」これは、20数年前に設置された図書館情報大(現図書館情報学)で、私ども情報工学の教員に対する図書館学の教育の座敷の陰口である。先生はある日、研究室のスタッフが全員集めて、アメリカで始まったばかりのコンピュータネットワークの研究について自説を述べた。その直後、音声情報処理しか経験のない私に、その研究

原点 GEN-TEN

ん)入して、けしからんというわけである。ところが、私の恩師、京都大学名誉教授の坂井利之先生は、研究室内で新しいプロジェクトをいくつも始める先生であつた。30年前の話であるが、

研究リーダーとしてやれといわれた。びっくりした。始めてみると私の体質にあつていて、先生に大いに感謝している。この経験から、情報工学でその後現れる新しいものに怖じけずに取り組み

「座敷に泥足」の陰口耳に 電子図書館までの曲折



田畑 孝一

先生はある日、研究室のスタッフが全員集めて、アメリカで始まったばかりのコンピュータネットワークの研究について自説を述べた。その直後、音声情報処理しか経験のない私に、その研究

ことができるようになった。それなのに!開学時の図書館情報大学に来て受けたカルチャーショックで茫然自失、何をしようの分からなく、しばらく研究に手がつかなく

は本末転倒で、初めに内容が付いていなかった。そして月日が流れ、私の現在の研究テーマは、インターネットというコンピュータネットワークを基盤としたデジタル図書館

「つくば生物ジャーナル」 ネット上の月刊誌創刊

生物学類が、大学の学科学位では全国的にも例のない月刊誌「つくば生物ジャーナル」を、昨年9月にインターネット上で創刊した。当初は偏りのあつた投稿数も5月号では15本に上つた。

林純一学類長(生物科学系教授)が中心となり、昨年7月から準備を進めていた。来年4月の国立大学法人化を見据えたカリキュラム作りを取り組むため、ジャーナルを学外との意見交換の場にしようと考えた。新歓や大学説明会など、年間行事にあわせた特集を組んでいる。また、11月号ではAC制度、11月号と1月号では高校の理科教育について、学内外から寄せられた投稿文をまとめて掲載した。他大学や企業などで活躍するOBも、それぞれ



繰り返して読む忠臣蔵外伝 編笠十兵衛 池波正太郎著



辻村 真貴

た刃傷事件から討入りまでの一連の物語を、幕府の隠密である一人の剣豪・月森十兵衛の目から描いた忠臣蔵外伝です。主人公、すなわち作者

網吉の全く公正を欠く裁断に対する批判によって賞かれています。「喧嘩両成敗」という厳然たる幕府の定法があつたにも関わらず、網吉は一時の激情にまかせ、この定法を破ってしまったのです。主人公の十兵衛は、幕府政道が誤りなく行われているかを常に監視することができる文体でありながら、内容は決して軽くなく、心に響くのです。ふだん、汗をかきかき、いかにも仕事しているぞ、というような見場を過ごしている私にとって、作者の池波正太郎さんは、ひそかな心の師なので、もともと、永遠に届かぬ師でありながらも、一日の仕事が終わった後に何となく思いついたように、池波さんの作品を読む、私にとっての珠玉のひとつです。(新潮社、上巻590円・下巻552円) (地球科学系講師)

古典芸能・伝統文化 9団体が展示や実演



日本の古典芸能などを披露する伝統文化系サークルの合同企画「天上大風」が、4月19日、開学記念館で開催された。

「焼き物を作る会」は、土の塊から茶碗や湯飲みが出来上がるの瞬間を見学から拍手と歓声が上がった。

茶道部の野点には、多くの見物客が参加し、学生の見事な点前で、茶菓子とお茶を楽しんだ。写真。

フィナーレは出演者全員が花道を作って、見物客を見送った。

天上大風の代表者、山本佳奈さん(日・日3年 筑波能・狂言研究会)は、「この企画は普段別々の活動をしている団体間の交流を深めるといった目的もある。広報が足りなかったという反省はあるが、お互いの交流が図れ、成功だったと思う」と総括した。

受賞者一覧

実市和男教授(電子・情報工学系)、河副文夫(システム情報工学研究科2年)、杉山哲男(システム情報工学研究科4年)、中村浩一(電子・情報工学系)、和田耕一教授(電子・情報工学系) 日本印刷学会誌平成15年度論文賞 腰塚武志教授(社会学系) 日本オペレーションズ・リサーチ学会業績賞 志賀和人助教授(農林学系) 林業経済学会賞 新保史生・助教(図書館情報学系) 電気通信普及財団賞奨励賞 第1回トコモ・モバイル・サイエンス賞奨励賞 前野哲博講師(臨床医学系) 日本総合臨床医学会日野原賞 松本功講師(臨床医学系) 日本本内科学会奨励賞 石田豊(化学研究科5年) 日本化学会第83春季年会学生講演賞 朝日龍介(工学系4年) 2002年度衝撃波シンポジウム・優秀ポスターアワード

永井・高安、世界水泳へ

日本選手権 自由形で2種目優勝 永井

50メートルバタでV 高安

水泳

世界水泳とユニバーシアード大会の代表選考を兼ねた日本選手権水泳競技大会が4月22日から27日まで、東京辰巳国際水泳場で行われた。女子自由形の永井幸子(体育4年)が200メートルで2分0秒97、100メートルで55秒99のタイムで2種目優勝。高安亮(同)も男子50メートルバタフライで接戦を制し、ニバーシアード大会の代表



表彰式で声援に応える高安(左)と永井(4月25日、東京辰巳国際水泳場)

24秒39で優勝を飾った。この結果を受け、永井と高安は7月にスペイン・バルセロナで行われる世界水泳出場の切符を手に入れた。8月に韓国で行われるユニバーシアード大会の代表

永井は昨年優勝した50メートルには出場せなかった。決してベストコンディションではなかったが、王者の意地を見せた。下山好充コーチ(体育センター)は「調子が悪くなりによくやっ」と評価する。高安は100メートルで優勝を狙い、調整を続けてきた。自己ベストの53秒14を記録したが、2位に終わった。悔しい結果だが、前半が50メートルのペースタイムとほぼ等しく、「スプリント力がついてきた(下山コーチ)と、収穫の多いレースと

には、永井、高安のほか、女子自由形の山田香(同)と男子背泳ぎの宮下純一(同2年)も選ばれた。また、アリーナスプリング賞の女子第1位に永井が、同2位に山田が選ばれ、表彰を受けた。この賞は、昨年度を通じて、主要大会

で男女自由形50メートルランキング上位3名に贈られる。本学勢の3位以内入賞者は以下の通り。男子 100メートル自由形・3位「小島貴光(同4年)」50メートル平泳ぎ・3位「齊藤利樹(同4年)」

200メートル背泳ぎ・3位「宮下純一(同2年)」800メートル自由形・3位「荒瀬洋太(同4年)」女子 50メートル自由形・2位「山田香」女子100メートル自由形・3位「山田香」

王座決定戦を盛り上げよう」という実行委員会(委員長「都澤凡夫体育科学系教授」)が5月12日発足した。本学とつくば市が共同で進めるスポーツ振興基本計画の一環だ。

男子王座決定戦は昨年、広島で初めて行われ、今年で2回目を迎える。6月下旬に行われる東西インカレの優勝、準優勝チームがそれぞれ参加して大学王座を決める。大会は7月12、13の両日、つくばカピオで行われる。

実行委員は大学の教員、学生だけでなく、つくば市商工会やつくば市体育協会の職員で構成、本学からは男女ハレーボール部員を中心に50人以上の学生が参加する。

実行委員は、大会運営のほか、さまざまなイベントを企画している。つくばの郷土芸能を披露するオーブニングセレモニーをはじめ、市のハレーボール愛好会によるエキシビジョンマッチ、選手と観衆の交流を図るためのハレーボール教室のほか、参加自由のレセプションイベントも予定されている。

目指すはアテネ

永井、高安らは今後、世界選手権に向けてナショナルチームに合流し、トレーニングに入る。下山コーチは「最終目標は来年のアテネオリンピック。世界水泳では、世界の一流で戦えるように成長してほしい」と期待している。(本紙・阿部智浩「社会学類・写真も」)

全日本女子選抜体重別選手権 谷本も世界選手権へ



谷本 歩実

柔道

全日本女子柔道選抜体重別選手権大会が4月13日、横浜文化体育館であり、63キロ級に出場した谷本歩実(体育4年)は惜しく

も準優勝に終わった。しかし、これまでの実績から、谷本は9月に大阪で開催される世界選手権大会出場選手に選出された。準決勝までは全て一本勝ちで勝ち上がった。決勝では、今年の福岡国際など、これまでの多くの大会で優勝を争ってきた上野順恵(三井住友海上)と対戦した。「お互いに手の内が分かってきている」だけに、

進一退の攻防が続く延長戦へ。ポイントを取った時点で勝負が決まるゴールデンスコアでも勝負が決まらず、最終判定で2-1で敗れたが、「内容は負けたとは思わない」と谷本は語る。今後は、世界選手権に向けて、国内外で行われる全日本強化合宿に参加する。「昨年の世界選手権では3位だったので、今年は絶対に優勝を目指す」と意気込みを語った。

男子がベスト8 男女とも好発進

全日本選手権 男子がベスト8 女子がベスト8

権が4月30日から5月5日、大阪府立体育会館で行われた。本学男子は、予選リーグを2連勝で突破。決

男子	筑大3	0	東京トヨベツト	筑大3	0	東洋アルミ	筑大3	1	旭化成	筑大0	3	東海大	女子	筑大0	3	パイオニア	筑大0	3	三洋電機	筑大0	3	三洋電機
----	-----	---	---------	-----	---	-------	-----	---	-----	-----	---	-----	----	-----	---	-------	-----	---	------	-----	---	------

つくば開催に向け 東西バレー男子王座決定戦 「盛り上げ」実委発足

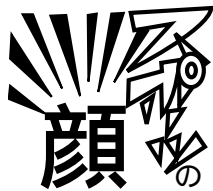
「つくばで行われる東西インカレバレーボール男子

王座決定戦を盛り上げよう」という実行委員会(委員長「都澤凡夫体育科学系教授」)が5月12日発足した。本学とつくば市が共同で進めるスポーツ振興基本計画の一環だ。

男子王座決定戦は昨年、広島で初めて行われ、今年で2回目を迎える。6月下旬に行われる東西インカレの優勝、準優勝チームがそれぞれ参加して大学王座を決める。大会は7月12、13の両日、つくばカピオで行われる。

実行委員は大学の教員、学生だけでなく、つくば市商工会やつくば市体育協会の職員で構成、本学からは男女ハレーボール部員を中心に50人以上の学生が参加する。

実行委員は、大会運営のほか、さまざまなイベントを企画している。つくばの郷土芸能を披露するオーブニングセレモニーをはじめ、市のハレーボール愛好会によるエキシビジョンマッチ、選手と観衆の交流を図るためのハレーボール教室のほか、参加自由のレセプションイベントも予定されている。



昨年夏の甲子園で、東京代表の帝京高校は7年ぶりにベスト4に進出した。予選・本選を通じてチーム打率3割を超える打線の中で、四番に座っていたのが、硬式野球部の1年生、坪木智(体育)だ。高校通算30本塁打以上という長距離打者の入部に、大きな期待がかかっている。

甲子園への思いは人一倍強かった。「プロ野球と違って、1戦にける思いがテレビを見ても伝わってくる。野球を始めるときから目標だった」と話す。高校3年、最後のチャンスで、念願の初出場。3回戦の福井戦でホームランを打ち、準々決

勝の尽誠学園戦では勝ち越しの犠牲フライを放っている。安打数こそ3本だったが、チーム1位の6四死球を選ばず4回の役割を果たした。昨年のドラフト会議では、帝京高校から2人が指名を受けた。ともに同じ外野手だ。坪木も、3球団の候補になった。だが「プロになるつもりはありません」と前もって部の監督に伝えていた。「甲子園にも出場できたし、野球はやめるつもりでした。あとは草野球程度でいいかなと思って」。

帝京の監督や少年野球の指導者でもある父親は野球を続けるよう説得していた。結局大学で野球を続ける道を選び、推薦で本学に入部した。本学の野球部は1996年の秋季以来、優勝から遠ざかっている。勝負の練習に参加させ、経験を積ませている。

大きな期待を背負っているが、現在坪木は金属バットと木製バットの間に苦しんでいる。金属バットなら、多少芯をはずしても、腕力に頼れば打球は飛んだ。「今までスタンドインしていた打球が外野フライになる」という。しかし、焦りはない。「とにかく練習するしかないですね」。高校時代、毎日約500スイングを振って、軟式から硬式の変化に対応した自信がある。

「もし四番に座ることになったら、三振を恐れず、フルスイングでホームランを狙います」



坪木智 選手(体育1年)

三振恐れずフルスイング

野球部復活のキーマンの成長に期待大。(本紙・時田備憲「社会学類」)

社会学類法学主専攻のカリキュラム

法学研究会「桐法会」代表で、法学主専攻の米澤那美さん(社会3年)は4月...

教員の不足

米澤さんは「法学を学ぶ上で、六法を専門にする教員が...

六法の専門家揃わず 火曜、木曜に授業集中

内野正幸教授(当時・憲法)、櫻井敬子助教授(当時...

「憲法の専門家も来年4月に間に合うようにしたい」とい...



模擬法廷での授業風景(社会学類長室提供)

社会学類生が不満を抱いているのは、教員の不足だけではない。米澤さんは「火曜日と木曜日に授業が集...

曜日の偏り

「憲法の専門家も来年4月に間に合うようにしたい」とい...

女子水球部

サクルどうする?

初夏の気持ちいい風。これからの自分の居場所をどこに...

初の一入暮らし

4月3日 私は母と2人、車に乗...

月と猫に励まされて

最近の私は、あの日の月と友達からのメール、そして時折実家の父から送ら...



冷蔵庫求む!

冷蔵庫が欲しい!これが今の私の切実な願いである...

チャリティーコンサート

「世界から飢餓・貧困をなくそう」という思いから集まった学生で...

「世界から飢餓・貧困をなくそう」という思いから集まった学生で...

ぜひ聴きにきて下さい!

私たちは、楽しくて、考えるきっかけにもなるような充実したコ...



冷蔵庫が欲しい!これが今の私の切実な願いである...

冷蔵庫が欲しい!これが今の私の切実な願いである...

冷蔵庫が欲しい!これが今の私の切実な願いである...

(3面から続き) 岡本健講師(電情) 東京電機大学...

学生初のトップリーダー

アースデイつくば2003実行委員長 エコレンの重原さん就任



重原沙登子さん

「ゴミ問題や資源のリサイクル、生態系の保全など環境問題に関わるつくば周辺の市民団体は、毎年4月22日のアースデイを中心に多彩な活動を展開している。この「アースデイつくば2003」の実行委員長に、環境サークル「エコレンジャー(エコレン)の重原沙登子さん(資源3年)が就任した。大学生が市民団体レベルのトップリーダーになるのは異例だ。「アースデイ」の活動は、1970年にアメリカで始まった。つくばでは99年、市民団体と行政、企業が連携して活動を開始。エコレンは97年のサークル設立時から、唯一の学生団体として参加してきた。

学生初の実行委員長になった重原さんはエコレンで渉外を担当し、市民団体と深く関わってきた。重原さん自身、市民団体と協力してイベントを開いたり、企業を回るなど学生団体の枠を超えた活動をしたと思っていた。エコレンに委員長選出の依頼があり、重原さんは就任を引き受けた。

アースデイは毎年テーマを設定して合同企画を実施している。今年のテーマは「里山・まち・筑波山歩こう、気をつけよう、きれいにしよう」で、4月から12月にかけて60を超える企画を展開する。

このうち本学関係では、エコレン、ボランティアサークルParty、茨城学生活動支援組織つぐみの3団体が合同で、5月11日に「1000人で筑波山をきれいにしよう」(通称「1000築」と筑波山でのゴミ拾いを企画した。

当日はグループ単位でゴミ拾いを行い、拾ったゴミの重さを競う「ゴミポンド・コンテスト」などを企画した。

「一歩踏み出して参加できるように」と重原さんは参加を呼びかける。問い合わせは事務局(及川)029・857・3054

こだわりの味届けます

三学喫茶 カラフルに新装開店



昼休み、店内は多くの学生で賑わう

黄色と緑の内装が目立った、大人の味が自慢だ。うになった。をひく三学喫茶「粉とクリーム・カフェ」。4月7日にリニューアルオープンし、素材にこだわったコーヒーやパスタなどが人気を集めている。

三学喫茶には以前から「食べるだけではない、空間を楽しめる場所にしてほしい」という要望が寄せられていた。これに応えるため、店内を改装、メニューも一新した。

「コーヒーはコロンビア、モカ、マンデリンをブレンドした、深煎りの豆を使用。苦みを強調し

種類あるパスタメニューの麺にもこだわりがある。日本で初めて、パスタの製造を始めたメーカーに発注している。長時間、低温で乾燥するという製造法で作られた麺は、小麦粉の甘みが強く、むちつとした食感が特徴だ。パスタメニューを注文した学生は「以前と比べると麺が全然違う」と満足。

新たにパンを焼くオーブンも設置され、焼き立てのパンが並ぶ。

リニューアル後1カ月間で、客足も約2割伸びた。カフェの責任者は「今後もお客様のニーズに応えながら、憩いの場を提供していきたい」と話している。

宿舎で防犯対策

街灯15基設置



新たに設置された街灯(平砂・追越地区で)

多くの新入生を迎えた学生宿舎で、防犯対策が進んでいる。

ドアを開けずに来訪者を確認できるドアスコープが、3月中旬から下旬にかけて、各部屋に設置された。ドアスコープはこれまで、女子が住む部屋を中心に、一部の部屋には設置されていた。今回取り付けられたのは、一の矢6棟、平砂6棟、追越8棟の計20棟。今回の工事で大半の部屋に設置されたことになる。宿舎に住む学生から、来訪者の姿が見えず不安だと以前から指摘されていた。

また、夜間の見通しを良くするため、街灯が一の矢地区に2基、平砂・追越地区に13基(移設の2基を含む)設置された。

つくば中央警察署は4月11日、21日のそれぞれ午後2時から4時まで移動交番を外国語センター前駐車場に設置した。OBサポート1と防犯サポーター4人、警察官5人と、規模は縮小している。今回は、主に新入生に向けて、防犯意識の向上を呼びかけた。ピラと自転車の防犯ネット160個を配布した。

新入生の中には、防犯ネットを求める学生もいた。またある学生は「警察が構内にいるのは不思議だが、安心する」と話していた。

同署生活安全課の濱田裕司課長は「最初から防犯意識があれば、犯罪は減るだろう」と話している。

議長に重住さん(人文3年)

「教育と厚生に力を入れたい」全代会



重住賢一さん



篠田康弘さん



千葉正明さん

全学学類・専門学群代表者会議(全代会)の第1回本会議が4月30日、1D(人文3年)で行われ、議長に重住賢一さん(人文3年)が就任した。副議長に篠田康弘さん(人文3年)が就任した。

さん(国際2年)写真中)と千葉正明さん(工シス3年)写真下)を選出した。最初に議長選挙が行われた。立候補者は重住さんだけで、信託投票が行われた。その結果、過半数の信託45票(不信1票、棄権4票)を集め、選出された。

続いて、副議長2人の選出が行われた。立候補したのは篠田さんと千葉さんの2人だけで、信託投票の結果、千葉さんは信託41票、篠田さんは信託30票、不信8票、棄権13票(総投票数51票)で共に信任された。

今回の本会議から新たに図書館情報専門学群と看護・医療科学類の座長団が3人ずつ参加した。図情大の統合と医短の学類化を踏まえたものだ。

重住さんに、1年間の抱負を聞いた。一問一答は次の通り。

具体的には、どのような方針を立てていますか。
2本の柱を考えている。1本は、学生に直接関係する、厚生と教育に力を入れたい。2本目は、全代会の透明化に努めたい。

どうして厚生に重点を置くのですか。
2年間、クラス代表を務めてきた経験からすると、厚生会などでは、学生の主張がよく伝わらず、意見が途中で消え去ってしまう。さらに、公式に大学に意見を伝えてもフィードバックがない。以前、人文のクラブで学内の街灯について、調査し、一学事務区(当時)に伝えたが、反応が無かった。フィードバックがあれば、大学側の説明も学生に伝わる。改善を促したい。

教育に関しては、教育に学生が口出しするのは、御法度という見方もあるが、授業を受ける側のニーズを伝えることは必要だ。大学に意見を伝える取りまとめ役に徹したい。

どのように透明化を進めますか。
まず、ポスターの作成を考えている。全代会の本会議で行う議論と結果を各学群棟に掲示したい。5月にも始めるつもりだ。



「大勢が坐っていると、自分の世界であり、個人的なものなんです。学生は、個人の世界で、田淵さんに教わりながら、座禅を体験した。まず、呼吸を数えることからはじめ、ひとりで、とゆつくり数えながら、息を吐き出す。そして、今年5年目を迎える。「こ」の余韻を保ちながら吸う。これを長く続ける回数と数息観(すそく)が、静かに自分の息を動かす方法が身につく。1メートル先を半眼で見

学生禅会 不識会

32



「大勢が坐っていると、自分の世界であり、個人的なものなんです。学生は、個人の世界で、田淵さんに教わりながら、座禅を体験した。まず、呼吸を数えることからはじめ、ひとりで、とゆつくり数えながら、息を吐き出す。そして、今年5年目を迎える。「こ」の余韻を保ちながら吸う。これを長く続ける回数と数息観(すそく)が、静かに自分の息を動かす方法が身につく。1メートル先を半眼で見

「不識会の禅は、そもそも宗教とは無関係。無心になれる場所を提供するだけ」と説明する。

「禅の魅力は、分からないところにある」と、田淵さん。禅というものがまだつかみきれない。つかもうとしているが「成長しているとはまだ思えない。一朝一夕にはいかないですね。」日々の慌ただしい生活から離れ、落ち着いて自分と向き合う瞬間が、そこにはある。

無心の境地求めて 魅力は「わからなさ」

(本紙・山脇学「国際総合学類」)

新入生に 防犯ピラ

移動交番

つくば中央警察署は4月11日、21日のそれぞれ午後2時から4時まで移動交番を外国語センター前駐車場に設置した。OBサポート1と防犯サポーター4人、警察官5人と、規模は縮小している。今回は、主に新入生に向けて、防犯意識の向上を呼びかけた。ピラと自転車の防犯ネット160個を配布した。

Who's Who?



18歳にして、3冊の著作を持つ

登大遊 さん(情報1年)

のぼり だい ゆう
 18歳にして、すでに3冊の著作を持つ。16歳で出版した「Direct X 8.0 3Dアクションゲーム・プログラミング」(工学社)をはじめ、いずれもウィンドウズのプロダクト本だ。登大遊さん(情報1年)は、アドミッションセンター入試で入学した。「6歳でパソコンに触れ、小2でプログラムを始めました。そう語る登大遊さんの目にプロとしての自信が光る。中学1年の時にホームページを立

月に3回、仕事で上京 小2でプログラミング

プログラミングやソフトウェアに関する記事を書いてきた。高1の夏、工社から「本を出さないか」と依頼が舞い込む。わずか1カ月、主に土日を使って256ページの

登大遊さんはNTTドコモの次世代携帯「FOMA」に対応する、日本初の携帯メモリ編集ソフトを開発している。そのため、FOMAに対応したソフトはなかった。このソフトを使えば、アドレス帳のデータだけでなく、送信メールやメモ、FOMAで撮影した写真やビデオもパソコンで保存・編集可能となる。02年7月に立ち上げたホームページで、このソフトを販売し、多くの人が利用している。

高校時代は、放送部に所属し、学内放送システムに革命を起こした。利用者は、インターネット上で時間と曲をリクエストする。指

やどかり祭

30、31日に開催

テーマは「一祭合祭」

第29回宿舎祭(やどかり祭)が5月30、31の両日(雨天時は6月1日)平砂宿舎に開催される。今年このテーマは「一祭合祭」。

30日の前夜祭では平砂3号棟裏の駐車場に設置する

特設メインステージで、野外ライブが行われる。また、平砂宿舎付近で、フラメンコ同好会など、ダンスサークルが参加する「やどかりパレード」を予定している。

31日には、目玉となる御輿が平砂宿舎と追越宿舎の

周りを練り歩く。また、各学類が個性豊かなステージを繰り広げる。ゆかたコンテストなどが行われる。本祭エンディングでは、花火を打ち上げ、祭りに彩りを添える。

2日間を通じ、会場には昨年より約30店多い、79店の模擬店が並ぶ。昨年同様、チケット制ではなく、現金で直接支払う。

祭りの開催に伴う交通規制と駐車規制は以下の通り。

交通規制(やどかり祭開催中)
 通行止め ゆりのき通り
 片側通行 平砂、追越学
 生宿舎内道路
 自転車通行禁止 平砂学
 生宿舎地区内ベドストリア
 ン

駐車禁止
 平砂駐車場、仮設平砂西
 駐車場 5月29日18時~6
 月1日17時
 仮設追越西駐車場 5月

27日18時 6月1日17時
 仮設西地区駐車場 5月
 30日18時 6月1日21時ま
 で
 代替駐車場はすべて南地
 区駐車場

学園祭

参加企画の受付は 6月7日 10日に

今年の雙峰祭は10月11日から13日までの3日間「Plus Ultra(プル・スウルトラ)」をテーマに開催される。本部企画では、開学30周年を記念した講演や展示が見物だ。これに向けて学園祭実行委員会では参加企画を募集している。

申込用紙は、各学群棟の配布スタンドで、6月1日から7日まで配布する。受

研修所利用

5月30日から予約開始

山中共同(山梨県山中湖村)、館山(千葉県館山市)両研修所の夏季利用(7月1日から8月31日まで)の予約受付が、5月30日午前9時から本部棟2階の学生課で始まる。大学の行事や授業など特別利用の場合は、5月22日まで優先的に予約を受け付ける。受け付けは先着順となるため、希望者は早めに予約をする必要がある。ただし、利用予約日の1カ月前には申し込みができない。予約受付の完了後、利用日の10日前までに、必要書類に宿泊費を添えて手続きを行う。定員は、山中共同研修所が学生64人、教員12人。館山研修所が学生40人、教員13人となっている。

投稿募集

皆さまからの投稿をお待ちしています。

編集室：共同研究棟A-104 853-6699
 e-mail shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

次号は

6月16日月

発行予定です

Tsukuba INFORMATION of CULTURE

つくば美術館 029-856-3711

前田常作 - マンダラへの道
 開催中~ 5月25日(日)
 内容= 絵画
 一般380円 大学・高校生280円 中学・小学生180円

豊田直巳写真展 戦時下の子どもたち
 5月28日(水)~ 6月1日(日)
 内容= 写真
 入場無料

ノバホール 029-852-5881

第53回筑波大学管弦楽団定期演奏会
 5月18日(日) 13:00開場 14:00開演
 全席指定 S席1200円 A席800円
 シューマン：交響曲第4番 二短調
 チャイコフスキー：
 幻想序曲《ロメオとジュリエット》
 シューベルト：《ロザムンデ》序曲
 指揮・小田野宏之

第49回筑波大学吹奏楽団定期演奏会
 5月25日(日) 13:00開場 14:00開演
 全席自由 前売り 一般400円 小・中学生200円
 当日各100円増
 A.リード：エルサレム讃歌
 L.パースタイン：キャンディード序曲
 スクリーン・ミュージック特集

エレオノーレ弦楽四重奏団演奏会
 5月30日(金) 18:00開場 19:00開演
 全席自由 3000円
 ベートーベン：弦楽四重奏曲第12番
 シューベルト：弦楽四重奏曲「第13番ロザムンデ」

第47回土浦交響楽団定期演奏会
 5月31日(土) 16:00開場 17:00開演
 全席自由 前売り 一般700円 高校生以下500円
 当日各100円増

つくばカピオ 029-851-2886

開学30周年記念 筑波大学・トロント大学
 バスケットボール国際交流大会
 5月17日(土) 10:00開会 13:30試合開始
 入場無料

マルセロ・ロハス&ルシア塩満
 アルパ・ジョイント・コンサート
 5月28日(水) 18:00開場 18:30開演
 全席自由 前売り3500円 当日4000円

大学会館書籍部ベストセラー

1	つくば食事典	結エディット
2	光に向かって心地よい果実	高森顕徹/一万年堂出版
3	プレイブ・ストーリー(上・下)	宮部みゆき/角川書店
4	ノーベル賞受賞者にきく子どものなぜ? なに? ベッティ・シュティンケル/主婦の友社	
5	学力は家庭で伸びる	陰山英男/小学館
6	質問力	斉藤孝/筑摩書房
7	アホでマヌケなアメリカ白人	マイケル・ムーア/柏書房
8	エミリー・ザ・ストレンジ	コスミック・デブリ/メディアファクトリー
9	天才の読み方	斉藤孝/大和書房
10	ゲド戦記・アースシーの風	ル=グウィン/岩波書店

4月の第1位は、2年ぶりの発行となる「つくば食事典」。第3位は宮部みゆきの「プレイブ・ストーリー」。小学5年生の巨匠「運命を変えてみせる」との決意を胸に、剣と魔法と物語の神が君臨する広大な異世界「幻界」へと旅立った。巨の願いは叶えられるのか……。

5月の催事は、東京大学出版会フェア(15%オフ、5月31日まで)。

BEST SELLER